

KISSEI

証券コード：4547

決算補足資料

2025年3月期 第2四半期（中間期）

2024年11月5日

 **キッセイ薬品工業株式会社**

目次

【第2四半期（中間期）決算短信 「当中間期の経営成績の概況」より抜粋】	P 1
I. 連結損益計算書の推移	P 2
II. 連結貸借対照表の推移	P 4
III. 連結キャッシュ・フロー計算書の推移	P 6
IV. 配当の推移	P 7
V. 主な医薬品の売上推移	P 8
VI. 新薬開発状況（自社）	P 9
VII. 新薬開発状況（導出）	P 9

注記

- ・ 本資料記載の将来見通しは、既存の情報や様々な動向についてのキッセイ薬品による2024年11月時点での分析に基づいています。実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により見通しと異なることがあります。

【第2四半期（中間期）決算短信「当中間期の経営成績の概況」より抜粋】

・売上高の状況

医薬品事業の売上高は、36,633百万円（前年同期比19.1%増）となりました。過活動膀胱治療薬「ベオーバ錠」に加え、中期経営計画「PEGASUS」期間中に新発売した4製品（潰瘍性大腸炎治療薬「カログラ錠」、顕微鏡的多発血管炎・多発血管炎性肉芽腫症治療薬「タブネオスカプセル」、慢性特発性血小板減少性紫斑病治療薬「タバリス錠」、透析患者におけるそう痒症治療薬「コルスバ静注透析用シリンジ」）の売上の伸長、さらには技術料売上なども増加し、増収となりました。

情報サービス事業の売上高は4,032百万円（前年同期比2.4%減）、建設・施設メンテナンス事業の売上高は1,307百万円（前年同期比21.4%減）、物品販売事業の売上高は492百万円（前年同期比18.3%増）となりました。

・利益の状況

利益面では、増収及び売上原価率の改善があったものの、研究開発費を主とした販売費及び一般管理費の増加により、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益は減益となりました。なお、特別利益として投資有価証券売却益を計上しています。

・研究開発の状況

当社が創製した子宮筋腫・子宮内膜症治療薬リンザゴリクス（一般名、開発番号：KLH-2109）は、子宮筋腫を適応症とした2つの国内第Ⅲ相臨床試験において主要評価項目を達成し、承認申請の準備を開始しました。また、2024年9月には、ライジェルファーマシューティカルズ社（米国）との間で、急性骨髄性白血病治療薬オルタシデニブ（一般名）の日本・韓国・台湾における独占的な開発権及び販売権の取得に関する契約を締結しました。

リンザゴリクスの海外展開においては、技術導出先であるセラメックス社（英国）より、2024年9月に欧州にて、子宮筋腫を適応症として「YSELTY（イセルティ）」の製品名で新発売されました。同社は、本剤の子宮内膜症（効能追加）を適応症としてEMA（欧州医薬品庁）に承認申請を行い、現在、承認審査が進められています。また、2024年6月には、JWファーマシューティカル社（韓国）に韓国における独占的な開発権及び販売権を許諾しました。なお、当社は2024年9月、バイオジェニユイン社（中国）に対し、同社との間で締結した中国他における開発権及び販売権を許諾するライセンス契約の解約を通知しました。

アフアメドセラピューティクス社（中国）との間で締結した、当社創製のパーキンソン病治療薬KDT-3594（開発番号）の中国他における開発権及び販売権を許諾するライセンス契約は、2024年5月に終了しました。

I. 連結損益計算書の推移

(百万円)

項目	2024年3月期		2025年3月期			
	中間期	通期実績	中間期	前同比	通期予想	前期比
売上高	36,978	75,579	42,466	14.8%	86,500	14.4%
医薬品事業	30,765	63,348	36,633	19.1%	74,000	16.8%
医薬品	26,420	54,237	31,161	17.9%	63,500	17.1%
ヘルスケア食品	1,763	3,545	1,800	2.1%	3,600	1.6%
技術料 ^{*1}	171	714	1,430	736.1%	2,100	194.1%
その他 ^{*2}	2,410	4,850	2,241	△7.0%	4,800	△1.0%
情報サービス事業	4,133	8,399	4,032	△2.4%	8,500	1.2%
建設・施設メンテナンス事業	1,663	3,022	1,307	△21.4%	3,150	4.2%
物品販売事業	416	809	492	18.3%	850	5.1%
(売上高のうち輸出)	(2,268)	(4,510)	(3,581)	(57.9%)	(6,300)	(39.7%)
売上原価	18,677	38,238	21,068	12.8%	43,200	13.0%
(原価率%)	(50.5)	(50.6)	(49.6)		(49.9)	
売上総利益	18,300	37,341	21,397	16.9%	43,300	16.0%
販売費及び一般管理費	16,284	33,324	19,616	20.5%	38,300	14.9%
研究開発費	4,499	9,474	7,091	57.6%	13,000	37.2%
(売上高比%)	(12.2)	(12.5)	(16.7)		(15.0)	
営業利益	2,015	4,017	1,781	△11.6%	5,000	24.5%
営業外収益	1,531	2,329	786	△48.6%	1,500	△35.6%
受取利息及び配当金	728	1,319	735	1.0%		
その他の収益	803	1,009	51	△93.6%		
営業外費用	81	203	330	303.1%	500	146.3%
支払利息	9	18	9	6.4%		
その他の費用	72	185	320	341.5%		
経常利益	3,465	6,142	2,237	△35.4%	6,000	△2.3%
特別利益	4,054	8,349	5,190	28.0%	10,500	25.8%
特別損失	17	43	269	–	300	597.7%
税金等調整前中間(当期)純利益	7,502	14,449	7,159	△4.6%	16,200	12.1%
法人税、住民税及び事業税	1,334	3,263	1,954	46.5%	4,300	31.8%
法人税等調整額	411	△104	△47	–	150	–
非支配株主に帰属する 中間(当期)純利益	78	128	2	△96.5%	50	△60.9%
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益	5,678	11,160	5,249	△7.6%	11,700	4.8%

(包括利益) (9,608) (36,044) (1,447) (△84.9%)

*1：ライセンスアウトに係る契約金、マイルストーン収入、ランニングロイヤリティの合計額

*2：国内販売提携先供給額、コ・プロモーションフィーの合計額

売上高	<p>実績： 医薬品事業：19.1%増収 医薬品が増加。医薬品ではベオーバに加え、新製品4品目（カログラ、タブネオス、タバリス、コルスバ）の伸長などにより全体で増収。また、ヘルスケア食品が微増、技術料売上が増加の一方、その他の売上はコ・プロモーションフィーが増加するも全体では減少。 その他の事業：6.1%減収 情報サービス事業が2.4%減収、建設・施設メンテナンス事業が21.4%減収、物品販売事業が18.3%増収。</p> <p>予想： 医薬品事業：16.8%増収 医薬品では、引き続きベオーバ及び新製品4品目の育成により、増収の見込み。 ヘルスケア食品は微増、技術料売上は増加、その他の売上は微減の見込み。 その他の事業：2.2%増収 情報サービス事業、建設・施設メンテナンス事業、物品販売事業の全ての事業にて増加の見込み。</p>
売上原価	<p>実績：売上原価率は0.9ポイント改善 医薬品事業の売上原価率は製品構成の変化や技術料売上の増加などにより改善。一方、その他の事業は事業構成の変化などにより、やや上昇。</p> <p>予想：売上原価率は0.7ポイント改善 医薬品事業、その他の事業ともに年度前半と同様の傾向を見込む。</p>
販売費及び一般管理費	<p>実績：前年同期比20.5%増加 販売費、一般管理費において微増、研究開発費において増加。研究開発費の増加は、主として新規導入テーマの契約一時金の計上、創薬テーマの臨床試験開始に向けた研究費の増加による。</p> <p>予想：前期比14.9%増加 販売費、一般管理費において微増、研究開発費において増加を見込む。研究開発費の増加は、年度前半と同様の理由による。</p>
営業外損益	<p>実績：有価証券評価損の計上、為替差損の増加などによる。</p> <p>予想：特別なものは見込んでいない。</p>
特別損益	<p>実績：投資有価証券売却益の増加などによる。</p> <p>予想：年度前半に加えて後半においても、投資有価証券売却益の計上を見込む。</p>

【その他項目（連結）】

(百万円)

項目	2024年3月期		2025年3月期			
	中間期	通期	中間期	前同比	通期予想	前期比
減価償却費	2,049	4,254	2,282	11.4%	4,900	15.2%
設備投資額	480	1,879	2,304	379.4%	4,400	134.2%
主要内容	生産設備等 70 その他 410	生産設備等 733 その他 1,145	生産設備等 932 その他 1,372		生産設備等 2,000 その他 2,400	
期末従業員数(人)	1,808	1,779	1,811	3	-	-

Ⅱ. 連結貸借対照表の推移

(百万円)

項目	決算期	2024年3月期		2025年3月期 中間期	増減 (対前期末)
		中間期	期末		
資 産	流動資産	105,869	104,551	107,009	2,457
	現金及び預金	24,234	22,894	26,444	3,550
	受取手形、売掛金及び契約資産	27,064	28,680	27,433	△1,246
	特定金銭信託及び有価証券	27,616	24,901	25,202	300
	棚卸資産	24,582	26,297	26,313	15
	その他の流動資産	2,370	1,778	1,615	△162
	固定資産	126,009	156,377	153,329	△3,048
	有形固定資産	24,276	24,861	26,149	1,288
	無形固定資産	1,582	1,992	1,863	△129
	投資その他の資産	100,151	129,523	125,316	△4,207
	投資有価証券	81,301	106,361	100,663	△5,697
	長期前払費用	14,107	14,219	15,424	1,204
	退職給付に係る資産	3,304	7,311	7,629	318
	繰延税金資産	442	608	459	△149
	その他の投資等	1,013	1,040	1,156	116
	貸倒引当金	△18	△18	△18	-
資産合計		231,879	260,929	260,339	△590

現金及び預金	・主として、利益による増加
受取手形、売掛金及び契約資産	・医薬品事業における減少、その他の事業における増加
その他流動資産	・医薬品事業における前払費用の減少
有形固定資産	・減価償却による減少の一方で、医薬品事業における建設仮勘定と情報サービス事業における建物及び構築物の増加
投資有価証券	・売却による減少及び時価評価による含み益の減少
長期前払費用	・減価償却による減少の一方で、医薬品事業における新規取得資産の計上による増加

(百万円)

項目	決算期	2024年3月期		2025年3月期 中間期	増減 (対前期末)
		中間期	期末		
負債	負債合計	30,251	39,793	39,568	△224
	流動負債	16,763	17,663	19,448	1,785
	支払手形及び買掛金	4,705	4,893	5,243	349
	短期借入金	1,390	1,340	1,260	△80
	未払法人税等	1,511	2,380	2,145	△235
	契約負債	1,734	1,486	1,011	△475
	その他の流動負債	7,423	7,562	9,788	2,226
	固定負債	13,487	22,129	20,119	△2,009
	繰延税金負債	12,527	21,188	19,257	△1,931
	その他の固定負債	959	941	862	△78
純資産	純資産合計	201,628	221,136	220,770	△365
	株主資本	164,130	162,683	166,120	3,436
	資本金	24,356	24,356	24,356	-
	資本剰余金	24,226	24,226	24,226	-
	利益剰余金	123,705	127,310	130,747	3,437
	自己株式	△8,158	△13,209	△13,209	△0
	その他の包括利益累計額	36,503	57,344	53,537	△3,807
	非支配株主持分	995	1,107	1,113	5
負債及び純資産合計		231,879	260,929	260,339	△590

支払手形及び買掛金	・医薬品事業における増加、その他の事業における減少
その他の流動負債	・医薬品事業における未払金の増加
繰延税金負債	・投資有価証券の売却及び時価評価による含み益減少に伴う減少
利益剰余金	・期中配当金支払いによる1,812百万円の減少、親会社株主に帰属する中間純利益による5,249百万円の増加
その他の包括利益累計額	・投資有価証券の含み益減少に伴うその他有価証券評価差額金の減少、退職給付に係る調整累計額の減少

Ⅲ. 連結キャッシュ・フロー計算書の推移

(百万円)

項目	決算期	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー		△2,333	2,775	5,108
投資活動によるキャッシュ・フロー		3,653	2,779	△874
財務活動によるキャッシュ・フロー		△2,959	△1,960	998
現金及び現金同等物に係る換算差額		5	△40	△46
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△1,632	3,553	5,186
現金及び現金同等物の期首残高		48,884	45,887	△2,997
現金及び現金同等物の期末残高		47,251	49,440	2,188

主な増減要因（前年同期比）

1. 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、売上債権及び契約資産の減少や棚卸資産の減少などの資金増加要因が、法人税等の支払額の増加などの支出増加要因を上回り、前年同期に比べ5,108百万円増の2,775百万円となりました。

2. 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果得られた資金は、昨年に引き続き投資有価証券の売却を行いました。有形固定資産の取得による支出が増加したことなどにより、前年同期に比べ874百万円減の2,779百万円となりました。

3. 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、自己株式の取得による支出が減少したことなどにより、前年同期に比べ998百万円支出減の1,960百万円となりました。

IV. 配当の推移

(円)

項目	決算期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期予想
中間配当		28	40	41	45
年間配当		56	80	82	90

(参考)

(百万円)

自己株式の取得		-	-	6,000	5,292
(取得株式数)		-	-	(1,910千株)	(1,400千株)
自己株式の消却		-	-	5,704	5,292
(消却株式数)		-	-	(2,500千株)	(1,400千株)

V. 主な医薬品の売上推移

(百万円)

製品名	決算期 2023年 3月期	2024年3月期		2025年3月期			
		中間期	通期	中間期	前同比	通期予想	前期比
過活動膀胱治療薬 ベオーバ	11,795	7,087	15,335	8,793	24.1%	18,200	18.7%
MPA ^{*1} 、GPA ^{*2} 治療薬 タブネオス	1,029	2,141	5,161	4,224	97.3%	8,800	70.5%
高リン血症治療薬 ピートル	5,665	2,770	5,241	2,361	△14.8%	4,800	△8.4%
透析そう痒症治療薬 コルスバ	-	-	757	2,251	-	4,700	520.9%
腎性貧血治療薬 ダルベオエチン アルファBS注JCR	4,386	2,090	4,077	1,941	△7.1%	3,600	△11.7%
デスマプレシン製剤 ミニリンメルト、他 ^{*3}	3,703	1,885	3,662	1,822	△3.4%	3,400	△7.1%
糖尿病治療薬 グルベス、グルファスト	4,061	1,983	3,806	1,703	△14.2%	3,300	△13.3%
慢性ITP ^{*4} 治療薬 タバリス	21	308	818	984	218.6%	2,500	205.6%
腎性貧血治療薬 エポエチンアルファBS注JCR	3,055	1,248	2,336	962	△22.9%	1,800	△22.9%
潰瘍性大腸炎治療薬 カログラ	500	585	1,091	627	7.2%	1,600	46.7%
排尿障害改善薬 ユリーフ	2,345	1,087	2,076	647	△40.5%	1,300	△37.4%
糖尿病治療薬 マリゼブ	1,059	549	1,073	496	△9.6%	1,100	2.5%

*1：顕微鏡的多発血管炎

*2：多発血管炎性肉芽腫症

*3：ミニリンメルト、デスマプレシン点鼻スプレー、デスマプレシン静注

*4：特発性血小板減少性紫斑病

VI. 新薬開発状況（自社）

（2024年11月現在）

一般名／開発番号	予定適応症	主な作用等	開発段階	開発区分等
CG0070	筋層非浸潤性膀胱がん	腫瘍溶解性ウイルス療法	第Ⅲ相	導入品／CGオンコロジー(米国)
リンザゴリクス ／KLH-2109	子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト	申請準備中	創製品
	子宮内膜症		第Ⅱ相	創製品
KDT-3594	パーキンソン病	ドパミン受容体刺激作用	第Ⅱ相	創製品
KSP-0243	潰瘍性大腸炎		第Ⅱ相	創製品

※ ロパチレリン（脊髄小脳変性症）：追加臨床試験の実施可能性を検討中
 ※ 前回公表時（2024年7月）からの変更点

リンザゴリクス（子宮筋腫） 第Ⅲ相 → 申請準備中

VII. 新薬開発状況（導出）

（2024年11月現在）

一般名	予定適応症	主な作用等	実施国・地域	提携企業	開発段階
リンザゴリクス (linzagolix)	子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト	オーストラリア	セラメックス(英国)	承認申請中
			台湾	シンモサバイオファーマ(台湾)	承認申請中
	子宮内膜症		欧州	セラメックス(英国)	承認申請中
ホスタマチニブ (fostamatinib)	慢性特発性血小板減少性 紫斑病	チロシキナーゼ阻害作用	韓国	JWファーマシューティカル (韓国)	承認申請中
シロドシン (silodosin)	前立腺肥大症に伴う排尿 障害	α1Aアドレナリン受容体 拮抗作用	ベトナム、他	イーザイ(日本)	承認申請中

※ 前回公表時（2024年7月）からの変更点

リンザゴリクス（子宮筋腫・欧州） 承認取得 → 発売（ドイツ、スペインなど）
 リンザゴリクス（子宮筋腫・オーストラリア） → 承認申請中（新規記載）
 リンザゴリクス（子宮筋腫・中国） 第Ⅲ相 → バイオジェンユインとのライセンス契約終結（削除）
 リンザゴリクス（子宮内膜症・欧州） 第Ⅲ相 → 承認申請中
 リンザゴリクス（子宮内膜症・中国） 第Ⅲ相 → バイオジェンユインとのライセンス契約終結（削除）